

かほく
ワイタシート

町民防災の日初訓練

大郷 迅速対応へ手順確認

台風19号 1年

大郷町は18日、昨年10月の台風19号災害を踏まえて制定した「町民防災の日」(10月13日)に基づく初めての総合防災訓練を町野球場で行った。住民や消防団員ら約200人が参加して災害対応の手順を確認、備えの意識を高めた。

避難所運営訓練では新型コロナウイルス対策として受付時に消毒、検温し、段ボール製の間仕切りを組み立てた。救急隊員の指導で竹の棒2本に毛布を巻いて担架を作り、タオルで止血

する流れなども学んだ。

国土交通省の排水ポンプ車も展示。食を通して町と連携する仙台大明成高の生徒は、大郷産大豆で作ったみそ汁や白菜とサバの水煮缶で作ったカレーライスを非常食として振る舞った。

昨年の台風では、大郷町粕川の中粕川地区を中心に住宅21棟が全半壊などの被害を受けたが、犠牲者はいなかった。

中粕川行政区長の赤間正さん(69)は「口頃から訓練していないと、いざというときに迅速に対応できない。防災意識を維持するためにも毎年続けることが大切」と話した。

(10月19日朝刊から)

問題

①大郷町は昨年の台風19号災害を踏まえて、何を制定しましたか。

()

②新型コロナウイルス対策として、どのようなことに取り組みましたか。

()

③中粕川行政区長の赤間正さんはどのようなことが大切と話していますか。

()

(小学校中学年以上／総合学習、学級活動など)

出題者から

昨年秋は大きな台風が連続して日本に近づき、大きな被害をもたらしました。大郷町でも多くの住宅が全半壊しましたが、亡くなった方はいませんでした。毎年継続してきた避難訓練と、自主防災組織の地道な活動に支えられた

住民の高い防災意識があったからです。町は町民防災の日を設け、住民の防災意識を未来につなごうとしています。皆さんの地域や学校では、この秋どのような防災の取り組みを行っていますか。

(日本新聞協会NIEアドバイザー・仙台市福室市民センター・児童館長 中辻正樹)

河北新報で自習しよう!

答えは25日の朝刊に



【かほくワークシートの模範解答】

24日の
答えだよ



①大郷町は昨年おお さと ちやう さく ねんの台風19号たい ふう ごう災害を踏ふまえて、何をなに制定せい じしましたか。
(町民防災の日ちやう じん ぼう さい ひ)

②新型しん がたコロナウイルス対策たい さくとして、どのようなことことに取り組みとりましたか。

(受付時うけ つけ じに消毒しょう じゆく・検温けん おんし、段ボール製だん ぼーる せいの間仕切りま じ き 切りを組くみ立たてた)

③中粕川行政なか かし かわ ぎやう せい ぐ区長ちやうの赤間正あか ま だしさんはどのようなことことが大切たい せつと話はなしていますか。

(日頃ひ ごろから訓練くん ねんしていないと、いざいざというときに迅速しん ぞくに対応たい おうできない。防災意識ぼう さい い し ぎを維持い しするためにも毎年まい とし続けるつづることが大切)